

がんばろう！東北

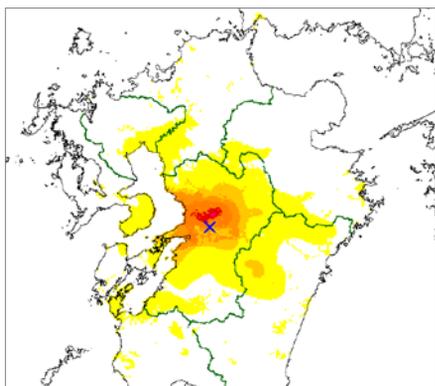
平成28年熊本地震への東北地整支援活動報告 ～TEC-FORCE・リエゾン派遣について～



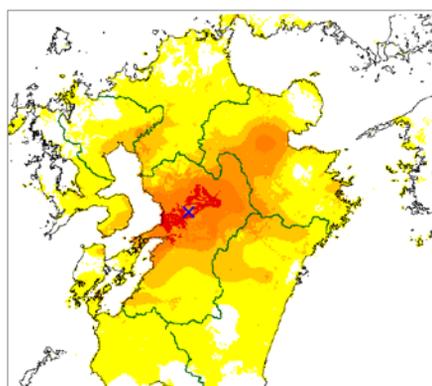
東北地方整備局 企画部 防災課

■熊本地震の概要

今回の熊本地震は、4月14日(木)21時26分に発生した最大震度7の前震と、4月16日(土)1時25分に発生した同じく最大震度7の本震により、熊本県を中心に大きな被害をもたらしました。



前震 4月14日(木)21時26分発生



本震 4月16日(土)1時25分発生



いずれの地震も、南北方向に張力軸をもつ横ずれ断層型の内陸地殻内地震であるとされています。その後も繰り返し余震が続き、6月21日現在で震度4以上は実に109回を数え、未だ予断を許さない状況が続いています。

■東北地整の初動対応

東北地整も速やかにTEC-FORCE派遣など支援要請に備えるべく情報収集を開始し、翌15日早朝までには防災ヘリ「みちのく号」の待機、先遣隊の人選など広域支援体制の準備を完了し、災害対策支援本部は支援準備体制をいち早く確立しました。

折しも発災14日は、本省において全国の防災担当者会議が開催されていたことから、会議出席職員が地震発生後、直ちに本省防災センターへ結集し、各地整との情報連絡を行うなど初動体制確立に向けて動き出しました。

■東北TEC・リエゾンの出動

4月18日(月)18:00、本省からの正式な支援要請を受け、同18:15、東北地方整備局・災害対策支援本部を設置、同18:45には本局災害対策室において、総合司令部と道路調査班からなる「東北TEC-FORCE」第一陣の出発式を執り行い、東北地整の九州支援がスタートしました。



東北TEC-FORCE第1陣の出発式

その後も、本局各部と10事務所から次々と後続班を派遣し、第1陣を派遣した4月18日から5月14日のリエゾン班帰還までの約1ヶ月の派遣期間中に、出動したTEC-FORCEとリエゾンは、全21班、実人員82名で、延べ人員は532名にのぼりました。



派遣先位置図

本局 企画部	9名 (総合司令部)
本局 総務部	7名 (総合司令部)
本局 道路部	12名 (道路班)
本局 河川部	13名 (砂防班)
本局 営繕部	4名 (建築物判定班)
山形河川国道事務所	4名 (道路班)
秋田河川国道事務所	2名 (道路班)
岩手河川国道事務所	6名 (道路班・砂防班)
能代河川国道事務所	6名 (河川班・道路班)
酒田河川国道事務所	2名 (河川班)
新庄河川事務所	8名 (砂防班)
湯沢河川国道事務所	2名 (砂防班)
北上川下流河川事務所	2名 (リエゾン班)
福島河川国道事務所	2名 (リエゾン班)
仙台河川国道事務所	3名 (リエゾン班)
	合計82名

東北TEC-FORCE・リエゾン派遣一覧

■派遣先でのTEC-FORCE・リエゾンの活動内容

- **総合司令部(東北TEC総括班)**は、九州地整災对本部の指揮のもと、現地における東北支援班の総括として、九州地整との情報共有、各被災調査班への指示等、東北支援本部(本局)との連絡調整活動などに尽力しました。



被災箇所等の確認作業状況



熊本県知事への調査結果報告状況

- **被災調査班(道路班)**は、熊本県甲佐町において町道や橋梁の被災調査を多数実施するとともに、法面亀裂箇所の現地調査を土木研究所とともに実施し、検討した崩落影響箇所の応急対策案を町役場に提案し町長より感謝の言葉をいただきました。



甲佐町の町道被災調査状況



甲佐町町長への被災調査結果報告

- 被災調査班(砂防班)**は、斜面が大規模崩壊し国道57号が寸断された南阿蘇村立野地区(阿蘇大橋落橋現場)において活動を実施。主要活動として、道路啓開及び行方不明者の搜索活動を安全に行うための監視・観測基準及び現場安全管理基準の策定、崩壊斜面周辺地山の安全度評価、崩壊した斜面頂部の砂防堰堤工法検討、周辺構造物の変状監視など、技術的な助言を積極的に実施し、要請元の熊本河川国道事務所長より「これぞ技術者集団！」と感謝の言葉をいただきました。



南阿蘇村:国道57号大規模崩落地調査状況(左)と調査方針打合せ状況

- 被災調査班(河川班)**は、能代河国と酒田河国の合同チームで編成され、阿蘇市において5つの河川の被災調査を実施しました。5河川の管理延長約43kmのうち、被災延長は約2kmと全体の約5%に相当。現地調査後に概算被害額の算定、応急復旧等への助言を行い、阿蘇地域振興局に調査結果を報告しました。



阿蘇市・乙女川堤防の沈下(段差約1.6m)



阿蘇振興局土木部長からの感謝の握手

- 被災調査班(建築物判定班)**は、熊本市と益城町において、その後の余震等による建築物の倒壊等に伴う二次災害防止を図ることを目的に、応急危険度判定士資格を有する営繕部職員による被災建築物87件の危険度判定活動を実施しました。



熊本市内の被災建築物の危険度判定



調査後、危険度判定ステッカーを標示

- リエゾン班**は、甲佐町において町長・役場職員に常に寄り添い、有益な情報提供や不足資材調達の手配から荷下ろしの手伝い、被災調査依頼など様々な支援ニーズに対応するとともに、現地TECと役場とのパイプ役としても大いに活躍しました。



九州TECと連携し町長要望に対応



カラーコーンの調達(北上下流河川の提供)

- また、東北TEC・リエゾンとは別に、**国総研と土木研究所の専門家チーム**が、南阿蘇村などの土砂災害危険箇所の確認や、自治体への説明資料作成作業にあたっており、このチームへ東北地整・河川部から係長1名が派遣され現地で専門チームの一員として活躍しました。



■見えてきた支援活動上の課題

現地で活動するTEC隊員の後方支援として、本局支援本部も移動手段、宿泊施設の確保、活動に必要な装備品の用意、派遣後の日々の連絡等に対応しましたが、活動が進むにつれて大小様々な問題点や反省点も浮き彫りとなり、今後の活動に課題を残しました。

- 主要な課題としては、①装備品の充実、②遠隔地支援時における装備品の輸送方法の工夫、③現地広報担当の強化などがあげられます。

■支援活動で得られた知見

今回の職員派遣にあたっては、実際の現地支援技術の継承とスキルアップを目的として、若手職員の派遣も積極的に行い、熟練した官クラスの班長から、現地で被災調査のノウハウや専門知識など、普段の業務では得がたい指導を直接受けることができたことは大きなメリットでした。

■おわりに

今回の熊本地震での支援活動を遂行できた大きな要因は、東北地整として東日本大震災をはじめ、過去に経験してきた数々の支援活動を通して蓄積してきた知識とノウハウが最大限に活かされた結果であると思慮されます。

しかし、一方で、東北地整としても希な大規模災害への遠隔派遣であったことから、私たちが想定していなかった課題も見えてきました。今後は、年々高まりつつある国土交通省TEC活動への国民の期待に応えるため、この課題を一つひとつ克服・改善し、更なる支援体制の強化に努めていくことが求められています。



本局災害対策室で開催した活動報告会(5/11)

平成28年度 防災エキスパート体制

平成8年に発足した「防災エキスパート制度」も今年で21年目を迎え、現在の登録会員数は、452名となっております。

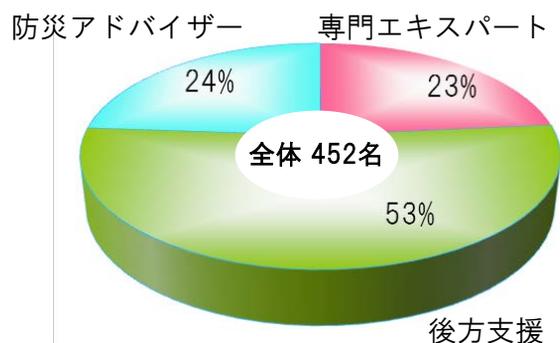
会員の皆様には、行政機関との連携を図りながら対応いただき、昨年度は、災害時延べ4名、平常時延べ366名の計370名の方々に活動いただきました。

平成28年度スタートして2ヶ月余りが経過しましたが、出水期を前に巡視点検等多くの活動にご協力いただいております。

県別登録内訳

登録県	専門	後方支援	防災アド	計
青森	7	17	3	27
岩手	13	22	9	44
宮城	53	115	61	229
秋田	13	23	9	45
山形	17	37	12	66
福島	3	24	14	41
計	106	238	108	452

支援分野別登録割合



※ いずれも平成28年7月1日現在
 ※ 複数県及び複数支援分野登録（重複）含まず

新規登録状況

新たに20名の方に防災エキスパートとしてご登録いただきました。

7月1日登録

氏名	登録県	登録事務所・出張所等
阿部 清市	宮城	北上川下流河川事務所
柴田 吉勝	宮城	仙台河川国道事務所, 石巻国道維持出張所, 南三陸国道事務所
蛸名 響	青森	青森河川国道事務所, 弘前国道出張所
加藤 信行	宮城	仙台河川国道事務所, 山形河川国道事務所, 福島河川国道事務所
木我 茂	宮城	仙台河川国道事務所, 仙台東国道維持出張所, 仙台西国道維持出張所
北村 章	山形	仙台河川国道事務所, 酒田河川国道事務所
小松 寿	宮城	仙台河川国道事務所
齋藤 信哉	宮城	新庄河川事務所, 寒河江出張所, 酒田出張所
佐藤 一男	福島	福島河川国道事務所
佐藤 利美	山形	山形河川国道事務所, 新庄出張所, 尾花沢出張所

氏名	登録県	登録事務所・出張所等
鈴木 守	岩手	三陸国道事務所, 宮古維持出張所, 釜石維持出張所
柴田 富士男	秋田	秋田河川国道事務所, 茨島出張所, 子吉川出張所
渋谷 正之	青森	青森河川国道事務所, 青森国道維持出張所, 小川原湖出張所
高橋 正信	宮城	仙台河川国道事務所, 北上川下流河川事務所
野呂 吉信	宮城	仙台河川国道事務所, 仙台東国道維持出張所, 岩手河川国道事務所
船木 純孝	青森	青森河川国道事務所, 五所川原出張所, 藤崎出張所
松井 幸一	宮城	仙台河川国道事務所, 名取川出張所, 岩沼出張所
三浦 邦彦	青森	青森河川国道事務所, 十和田国道維持出張所, 小川原湖出張所
宮田 忠明	宮城	仙台河川国道事務所
山谷 博志	宮城	仙台河川国道事務所

(敬称略：五十音順)

平成28年度 4・5・6月 防災エキスパート活動状況

平常時

県別	活動月	活動内容	活動場所	出勤人数	備考	
青森	4月	馬淵川水防演習事前指導	東北地域づくり協会 岩手支所	1		
		岩木川水系水防工法訓練 工法指導	青森河川国道事務所	1		
	5月	H28水防演習に向けた水防技術講習会	青森河川国道事務所	3		
			東北地域づくり協会 岩手支所	2		
		H28 水防演習リハーサル	青森河川国道事務所	3		
	6月	H28水防演習	青森河川国道事務所	10		
			H28重要水防箇所合同巡視	青森河川国道事務所 (五所川原出張所)		7
				青森河川国道事務所管内		3
				青森河川国道事務所 (藤崎出張所)		14
計				44		

県別	活動月	活動内容	活動場所	出勤人数	備考
岩手	4月	馬淵川水防演習事前指導	東北地域づくり協会 岩手支所	1	(4月は青森支所の活動に参加)
	5月	堤防設備等の点検巡視	岩手河川国道事務所 (一関・水沢)	11	
			岩手河川国道事務所 (盛岡出張所)	7	
		H28洪水対応演習	北上川ダム統合管理事務所	6	
		H28重要水防箇所合同巡視	岩手河川国道事務所 (盛岡出張所)	1	
			岩手河川国道事務所 (一関出張所)	4	
			岩手河川国道事務所 (水沢出張所)	7	
計				37	
宮城	4月	平成28年度北上下流徒歩巡視 (出水期前)	北上川下流河川事務所 (鳴瀬出張所)	3	
			北上川下流河川事務所 (飯野川出張所)	1	
			北上川下流河川事務所 (大崎出張所)	2	
			北上川下流河川事務所 (鹿島台出張所)	1	
	5月	H28重要水防箇所合同巡視	北上川下流河川事務所 (飯野川出張所)	1	
			H28水防技術講習会(仙台河国)	仙台河川国道事務所 (名取川出張所)	
	6月	H28北上下流重要水防箇所合同巡視	北上川下流河川事務所	5	
			北上川下流河川事務所 (涌谷出張所)	3	
			北上川下流河川事務所 (大崎出張所)	1	
		H28仙台河川国道事務所管内 重要水防箇所合同巡視	仙台河川国道事務所 (阿武隈大堰管理分室)	3	
			仙台河川国道事務所 (角田出張所)	1	
	仙台河川国道事務所 (名取川出張所)	3			
	計				
秋田	5月	H28堤防等河川管理施設及び 河道の点検(徒歩巡視)	秋田河川国道事務所 (茨島出張所)	1	
			秋田河川国道事務所 (子吉川出張所)	1	
		H28洪水対応演習	湯沢河川国道事務所 (大曲出張所)	1	
			湯沢河川国道事務所 (十文字出張所)	1	
	6月	H28秋田河川国道事務所管内 重要水防箇所合同巡視	秋田河川国道事務所 (子吉川出張所)	1	
計				5	

県別	活動月	活動内容	活動場所	出勤人数	備考
山形	5月	H28洪水対応演習	酒田河川国道事務所 (飽海出張所)	1	
	6月	新庄土砂災害危険箇所等点検	山形河川国道事務所	3	
			新庄河川事務所 (大石田出張所)	1	
		H28重要水防箇所合同巡視	新庄河川事務所 (鮭川出張所)	1	
			新庄河川事務所 (鳥越・鮭川出張所)	1	
			山形河川国道事務所 (長井出張所)	2	
		山形堤防決壊シミュレーション (第1回・第2回)	山形河川国道事務所 (南陽出張所)	1	
	山形河川国道事務所 (寒河江出張所)		1		
計			11		
福島	5月	H28洪水対応演習	福島河川国道事務所 (郡山出張所)	1	
			福島河川国道事務所 (伏黒出張所)	1	
計		2			
平常時活動 合計 延べ				126	人・日



【青森】水防演習に向けた工法指導



【宮城】水防技術講習会



【山形】重要水防箇所合同巡視



【秋田】堤防等河川管理施設及び河道の点検

防災エキスパート「青木隆夫氏、斎藤宗夫氏」が 災害対策功労表彰を受けました



平成28年7月19日(火) 北上川下流河川事務所にて国土交通行政関係功労者表彰式が行われ、防災エキスパートの青木隆夫さんと斎藤宗夫さんが災害対策功労者として感謝状を贈呈されました。

この度の受賞は、平成27年9月関東・東北豪雨の際に防災エキスパートとしての活動が事務所の対応体制強化に貢献したとして、お二人が表彰されました。当時のご活躍を感謝すると共に今後ますますの防災エキスパートの皆さまのご活躍に期待いたします。



集合写真(前列左から1番目が青木氏、右から1番目が斎藤氏)



北上川下流河川事務所長より表彰を受ける青木氏



北上川下流河川事務所長より表彰を受ける斎藤氏

【写真提供：東北地方整備局】

…★防災エキスパート事務局（本所）をご紹介します★…

防災エキスパート事務局を担当しております、技術企画部です。防災エキスパートの皆さまよろしくお願いたします。



**技術企画部
部長 西條一彦**

S61.8.5洪水から30年目を迎えます。
気を引き締めて…。



**技術企画部
技術員 鈴木香澄**

初めまして！鈴木と申します。
エキスパートの皆様活動を
しっかりサポートできるよう
頑張ります！



**管理部、技術企画部
主任 中村 裕子**

災害時・平常時の皆さまのご活躍
に感謝しております。
活動へのご意見やご提案等
お気軽にお寄せ下さい。



防災エキスパート担当に新しく加わりました、技術企画部の鈴木と申します。今後ともよろしくお願いたします。

今月も出水期前ということで多くのエキスパートの方々に活動していただきまして、本当にありがとうございます。防災エキスパートの皆様には、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

防災エキスパート事務局
(東北地域づくり協会 技術企画部)

TEL : 022-268-4611/FAX : 022-227-6344
E-mail : gijyutsukikaku@kyokai.or.jp